

第 6 回 土木構造物検討会 議事録

1 . 開催日時：平成 18 年 3 月 9 日（金）13：30～16：30

2 . 開催場所：（社）日本電気協会 4 階 C 会議室

3 . 出席者：（順不同，敬称略）

- 委 員：衣笠主査（東京工業大学），西副主査（電中研），金谷幹事（関西電力），大内（四国電力），金津（電中研），酒井（東京電力），小林（東北電力），川本（中国電力），仲田（中部電力），伴（電源開発），梶田（九州電力），四家（北海道電力）（計 12 名）
- 代理出席：大森（北陸電力・寺田代理），玉田（日本原電・富樫代理）（計 2 名）
- 常時参加者：蒲池（関西電力），武田（東京電力），今井（中部電力）（計 3 名）
- オブザーバ：久野・梅木（中部電力），八代（東京電力），寺村（東電設計）（計 4 名）
- 事務局：福原、荒木（日本電気協会）（計 2 名）

4 . 配布資料

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 資料 No.6-1 | 第 4 回 土木構造物検討会議事録（案） |
| 資料 No.6-2 | 土木構造物検討会委員名簿（案） |
| 資料 No.6-3-1 | 第 15 回基本方針策定タスク 議事録（案） |
| 資料 No.6-3-2 | 学協会規格の技術評価について |
| 資料 No.6-4 | JEAG4601 基準地震動関連の早期改定について |
| 資料 No.6-5-1 | JEAG 改定案比較表（2006.3.9） |
| 資料 No.6-5-2 | 最終間氷期他に關する説明資料（案） |
| 資料 No.6-5-3 | 第 3 章の内、活断層の概要 |
| 資料 No.6-5-4 | 第 4 章の内、地質調査の概要 |
| 資料 No.6-5-5 | JEAG 改定案（3 章，4 章（4.1～4.2）） |
| 資料 No.6-6 | 第 5 章の内、地盤の安定性評価の概要 |
| 資料 No.6-7 | 第 5 章の内、土木構造物の耐震設計の概要 |
| 資料 No.6-8 | 「提案」電気協会における火山に係る検討の進め方（案） |

5 . 議事

（1）検討会出席者の確認及び前回議事録（案）の確認について

本検討会委員総数 14 名のうち、本日出席委員 11 名，常時参加者 3 名，代理参加者 2 名で、代理参加者及びオブザーバの参加について衣笠主査より了承された。

資料 No.6-1 前回議事録（案）の紹介があり、一部誤記訂正の他は、コメントなく了承された。

（2）最近の原子力規格委員会関連動向について

資料 No.6-3-1，6-3-2 に基づき、事務局より、技術基準省令 62 号改正に伴いその解釈の中で民間規格が活用されたが、規制当局の民間規格技術評価の中で電気協会宛に出された要望と、それに対する原子力規格委員会の対応方針が紹介された。

(3) JEAG4601 基準地震動関係として早期改定する範囲に取り込む活断層及び地質調査

資料 No.6-4 による基準地震動関係を早期改定する方針案に沿って、JEAC に取り込む活断層及び地質調査について資料 6-5-3～資料 6-5-5 に沿って審議を行い、一部構成の見直し及び記述の見直しを行う条件で、3/15 の総括検討会、3/31 の電気協会耐震設計分科会に諮ることについて、挙手による決議の結果、出席委員全員の賛成で了承された。

審議内容は、以下のとおり。

- a . 活断層の最新活動時期、長さの評価、単位変位量の評価は、3章の他項との整合を踏まえ4章に移すこととする。
- b . 3章の「活断層の長さの評価」にて、地域性に関する記述は不要なので削除する。
- c . 4章の「解放基盤の定義」において、「十分な支持性能をもった」は不要なので削除する。
- d . 4章の「原子炉建屋設置予定地深層ボーリング」について、「深層」は不要なので削除する。
- e . 「3章のうち、活断層」の概要における主な議論に関して、最終間氷期の議論は表現が一部正確でないため修正する。
- e . 「4章のうち、地質調査」の概要における主な議論に関して、敷地近傍調査の範囲設定の記述については、本検討会だけの範疇ではないことから、再検討のこと。
- f . 最終間氷期他に関する説明資料(資料 No.6-5-2)の用語解説を本文から引用すること。
- g . 「4 . 3 地盤分類」については、分冊(あるいは追補版)として発行する「基準地震動策定編」に入れるかどうか、別途議論することとした。

(4) 第5章のうち地盤安定性の評価、土木構造物の耐震設計概要

資料 No.6-6 , 6-7 により題記 JEAG 改定案の説明及び審議が行われた。本件は、6月開催予定の分科会で審議予定。

主な意見は以下のとおり。

- a . 資料 6-6 について、簡易的な検討に用いる「建屋から基礎地盤に作用する地震力」は、各種比較検討に用いる「基礎地盤に作用する地震力」と同様であり、静的地震力(現行の3 C I)が作用した際に、建屋から基礎底面に作用する地震力。“基礎地盤に作用する地震力”を“基礎底面に作用する地震力”に変更する。

(5) 火山に係る検討

資料 No.6-8 により、IAEA で火山評価の基準化が進められていることを受け、火山評価のための JEAG を独立して制定するとの趣旨で次回耐震設計分科会に提案することが了承された。提出資料の最終版は後日 e-mail にて配信・確認することとした。

(6) 原子力安全委員会『発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針』改定時のパブリックコメント対応について

耐震設計分科会における確認・質問なら差し支えないが、本検討会としては意見する立場ではないことを確認した。

(7) その他

次回開催日程は改めて調整とする。

以 上